

2022.4.7 (木)
第33回例会
(通算3660回)

2020-2021年度
釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正伸
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



幸せしよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	職場訪問例会「北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社」(担当：職業奉仕委員会)
次週例会	地区研修・協議会に参加して(担当：次年度理事会)

- ロータリーソング：奉仕の理想
- ソングリーダー：清水 輝彦君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト JR北海道 釧路運輸車両所 所長 内藤 正浩様
// 副所長 佐藤 繁和様
// 運転科長 清水 貢様

会長の時間 杉村 莊平会長

皆さん、こんにちは。皆さんの普段の行いが良いのか、JR北海道様のおかげなのか、非常に素晴らしい天気の中で例会を開けてまして本当に良かったと思っています。ありがとうございます。



まずは先週のお礼です。先週、久しぶりに夜例会をさせていただきまして多数のご出席いただきましてありがとうございました。本日は来ていませんが、転勤族フォーラムでは工藤委員長が大活躍でして、素晴らしい例会ができたのではないかなと思っています。先日のフォーラムのやり方でいくと、これからも例えば、新入会員フォーラム、ベテラン会員フォーラムとか、いろんな工夫でお酒を飲みながら楽しい本音トークが展開できると思っています。またやってもらおうかなと思っています。どうぞよろしく願っています。さて、本日の職場訪問例会は久しぶりです。本日の開催にあたりましては山田支社長には、絶大なご協力をいただいております。本当にありがとうございます。改めて、ありがとうございます。

山田支社長におかれましては、先週の転勤族フォーラムに続きまして、2週連続の釧路クラブには絶大なご支援を賜りましてお礼申し上げます。ありがとうございます。

JR北海道様におかれましては、ここ数年いろいろな問題には向き合っているところだと思っています。とにかく、ひがし北海道の扇の要である釧路地域にはこの鉄道は本当に欠かせないものだと思います。

以前にお話しましたが花咲線や釧網線は観光路線としても本当に可能性がある所と思っています。特に今日の新聞に出ていましたが鉄道高架が市街地の再開発ということも聞かれています。釧路地域の今後の活性化に向けてはJR北海道さんを抜きに語ることはできないだろうと思っています。山田支社長含め、皆さんにおかれましては引き続き釧路地域への絶大なご協力・ご理解を改めてよろしくお願いしたいと思います。

本日の職場訪問例会でございますが、特別に普段見られないJRさんの内側を見せていただくこととなりますので、少しでもその事業に理解を深めて勉強させていただければと思っています。どうぞよろしく願っています。

それでは本日の職場訪問例会を楽しみにしております。ありがとうございます。

■本日のプログラム■

職場訪問例会「北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社」

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長



皆さん、こんにちは。奉仕プロジェクト委員長の小野寺でございます。私事ですが、皆さんご存知のように鉄道ファンでございます。私がこの場に立っている

のも何かの縁なのかなと思っております。釧路車両所は国鉄時代に「釧路機関区」、また「釧路運転所」という名で呼ばれていまして、私も小学校・中学校の時はよく通わせていただいています、非公式に。時効で許していただきたいのですが、今なら不法に見学させていただいて。そのころの職員さんはみんな優しいおじさんばかりで、友だち数人で侵入しても快く受け入れていただいで、機関車の運転台に乗せていただきました。そういうおらかな時代を経験させていただきました。

皆さんが中に入る機会は本当にはないですが、昔は年1回の『車両所祭り』をやっていました。子ども連れが多かったのですが、いろんな場所を見学させてもらえる日がありました。その時には見る機会あったと思いますが、それもなくなりました。見させていただく機会が一般的になくなったので、今日はとても貴重な体験をされるのかなと思います。

昨今ですと、特急車両のキハ283系が『おおぞら』から引退しました。まだ車両は残っているのかなと思いますが。あと、キハ40型という白に緑の線が入っているのも現役から外れたということで、それも最後に見るチャンスだと思います。しっかり皆さんの思い出に入れていただきたいと思います。

それで最後に小話をひとつ。「北海道旅客鉄道株式会社」はJR北海道さんの正式名称ですけども、これの旅客鉄道の「鉄」という字ですが、普通は鉄というと金偏に失うという字ですが、JR各社さんは、正式な社名のロゴはその「鉄」だと「お金を失う」ということから縁起が悪いということで、失うの字が矢になっているのです。もし、敷地内の看板等ではそうになっていると思うので、皆さん興味を持って見ていただけるとありがたいなと思います。

それでは、今日の見学会に際しましては山田支社長さんに大変ご尽力いただきました。

支社長様からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社

山田 浩司支社長



JR北海道の山田です。先週は「転勤族フォーラム」ということで転勤族に焦点を当てていただき、軽くいじっていただきましてありがとうございます。大

賞になられた小野局長は、今日はワクチン接種ということで残念ながら欠席でしたが、「先週、話した内容は一切忘れたい」と伝言いただいていますので、よろしく願いいたします。

今日は、釧路運輸車両所に訪問していただきまして、ありがとうございます。小野寺さんからは詳しい話もありましたけれども、昨年は『釧路駅開局120年』ということで例会でもお話をさせていただきました。この釧路運輸車両所も、そういう意味では白糠と釧路が結ばれて釧路駅が誕生して以来、前身の釧路機関区としてスタートしていまして、120年以上の歴史を持った設備・職場であります。

もともとはプリンスホテルの辺りに釧路駅がありまして、この設備につながっていたのですが、70年ぐらい前にこちらに引っ越し来て、今はこの状況にあるということです。

今日は、今年残念ながら運行できなかった「SL」ですとか、4月29日から運行します「ノロッコ列車」、これと同時に見られるのはなかなかないのですが、同時に見られるような配置にさせていただきました。中を見ていただけるようにしましたので、ぜひ写真を撮っていただいで。SNSに上げなければ写真を撮ってもいいですね。ぜひ、そういう所を見ていただければと思います。

私がかだけわがまを言って、見学コースに入れていただいたのが「車輪旋盤」という設備があります。昨年度、当社の列車と鹿の衝突が1,000件以上あります。そのたびにブレーキをかけるので、車輪が傷ついてしまい、その修繕をするのに、昔は車輪を外して修繕していたのですが、車輪をつけたままの状態車両を入れています。それは特殊な設備になりますので、少し離れた所だったのですがそれをコースに入れていただきました。少し時間がかかるのですが、ぜひこの釧路車両所は、鉄道の事業にとっては重要な職場になりますので、皆さん見ていただいで、ご理解いただければと思っています。よろしく願いします。

最後、皆さんに配らせていただいたパンフレットなのですが、『えきねっと』という当社の新幹線など予約できるもので、もし、登録したい方がいらっしゃればスタッフを配置しておりますので、帰りにスマホで登

録していただければと思います。



(見学説明～3グループ編成～見学)

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

皆さま、お疲れさまでございます。楽しい見学で時間が押してしましまして申し訳ございません。

今日、いろいろご説明いただきました。J R北海道の皆さまに感謝の意を込めて拍手をお願いいたします。

ありがとうございました。